

令和3年度

学校関係者評価委員会

議事録

期日 令和4年3月1日（火）

場所 黒木学園 本部

学校法人黒木学園 専門学校 長野自動車大学校

学校関係者評価委員

令和3年度 学校関係者評価委員会 議事録

日時：令和4年3月1日 17:00～18:00

I. 会議の開催概要

学校自らが行う自己評価の結果を評価することを基本として行う学校関係者評価の実施及び公表を行い、その評価結果を踏まえた教育活動、その他の学校運営の改善に活用する。

II. 出席者

三沢徳則：長野日産自動車株式会社
細尾枝美：長野県自動車整備振興会
北沢和彦：株式会社スズキ自販長野
駒津義之：長野日野自動車株式会社
春原秋夫：長野県専修学校各種学校連合会
宮島英輔：長野自動車大学校
廣間和彦：長野自動車大学校
竹内章夫：長野自動車大学校
松本拓実：カレッジオブキャリア
花岡大輔：長野自動車大学校（一学年）
宮澤圭輔：長野自動車大学校（二学年）

III. 議事の承認

三沢徳則：長野日産自動車株式会社
細尾枝美：長野県自動車整備振興会
北沢和彦：株式会社スズキ自販長野
駒津義之：長野日野自動車株式会社
春原秋夫：長野県専修学校各種学校連合会
宮島英輔：長野自動車大学校
廣間和彦：長野自動車大学校
竹内章夫：長野自動車大学校
松本拓実：カレッジオブキャリア
花岡大輔：長野自動車大学校（一学年）
宮澤圭輔：長野自動車大学校（二学年）

IV. 開会挨拶

(黒木学園 宮島)

学校関係者評価委員会は学校評価を説明させていただいて、ご意見をいただきます。職業専門実践課程を修得するには、文部科学省から審査を受ける必要があります。審査項目の中に関連企業と協力してカリキュラムの点検をしているか、自己評価をみていただいているかなどの内容が含まれています。

職業専門実践課程を修得すると給付型の奨学金制度が使える、職業安定所からの学費の補助がでたりします。今後も重要と考えて修得を継続していきたいと思えます。自己評価は教員全員が評価しているため担当以外は内容を詳しく知らないため、厳しい評価になることが多いです。担当以外も職員に周知して改善しなければならない。

V. 参加者紹介

(参加者各自挨拶)

VI. 自己評価について (配布資料参考)

(黒木学園 宮島)

a) 学校の教育目標について

・教育理念が黒木学園にはあります。「職業に必要な知識、技術を身に付けそれを資格、免許でしめし、人間的に魅力溢れた職場で活躍できる職業人を育成する」があります。今の目標は出願者が減少していますので、魅力ある学校にして出願者を増やしたい。変化を恐れず新しい学校に5年ぐらいかけてやろうとしています。それに対して教育理念・目的・人材育成等の評価となります。

b) 教育理念・目的・人材育成について

・「社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか」の項目については今まで通りにやっている人や将来構想について迷っている人もおり、若干評価が低くなっています。ニーズや将来構想については確認してやる必要がある。

c) 学校運営について

・「運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか」と「人事、給与に関する規定等は整備されているか」の評価が若干低いのは、明確な規定はありますがこれに触れる機会がある職員が少ないためです。システムを知らせていく必要がある。

・「情報システム化による業務の効率化が図られているか」については他学科の情報科の職員と協力して新しいシステムを学んで改善していきたい。

d) 教育活動について

・「キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか」については、新しく工夫するのが苦手なところがあり、一回完成するとその方法で回してしまうところがある。ご意見を頂き改善させていきたい。

・「教員の能力開発のための研修等が行われているか」については評価が低くなっています。これは新技術、メーカーなどの研修には多く参加していますが、教え方や学生対処の研修は少なくその部分の改善をしていきます。

e) 学修成果について

・「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」については、卒業生が多く来校するため、其のつど情報を集めています。公的に卒業生の評価をしていませんので、評価が低くなっています。どの程度情報を集めて評価しているのかわからない部分があるため今後改善していきます。

・「卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか」については、卒業生の意見を活かしてやっていますが、教育活動の改善となるとそこまでの対処はしていませんので評価が低くなっています。

f) 学生支援について

・学生支援については力を入れております。専門学校は高校と大学の中間の位置だと感じています。本人に指導したときは必ず保護者に連絡したり相談したりしています。

・「学生の健康管理を担う組織体制はあるか」については、年1回の健康診断を実施しており、体調が悪くなった学生は車で送るなど対策はしていますので、評価は低いが、十分だと感じています。

・「課外活動に対する支援体制は整備されているか」については積極的にには行っていませんので3の評価で妥当だと思います。ただし、国体に出場する学生などには公欠を与えるなどの支援を行っております。しかし、当校は長期の休みがあると補講が終了できないため海外留学を授業としてみとめるなどの支援はできません。

・「学生の生活環境への支援は行われているか」については生活環境については学生の状況からでは見えない部分ではありますが、給付型の奨学金など支援で対応しております。学校独自での授業料の減額などの要望がありますが対応できていません。

・「高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか」については、中学校や高校で自動車整備士を体験する授業を申し込まれており対応しております。

g) 教育環境について

・教育環境については十分な設備をそろえてありますが、最近の取り組みとしてインターネット環境を整え、学生にワイファイを使えるようにして授業に利用しております。

h) 学生の受け入れ募集について (黒木学園 松本)

・募集活動は適切に行われている。しかし、コロナ感染症の影響で多くのイベントや説明会が中止になったり、高校への訪問やガイダンスは外部の人の参加を禁止になるなど2年近く学生と接触する機会が失われています。今後、高校生に当校の案内ができる方法を見つけるのが課題になっています。お金をかけずに募集活動をするために企業様との連携をしてオープンキャンパスの宣伝や整備士に興味を持っていただく場の協力を今後ともお願いします。

・「学生募集活動において、資格修得・就職状況等の情報は正確につたえられているか」については、学校案内にスペースを設けて掲載したり、オープンキャンパスなどに来た学生に伝えているので、概ね評価通り情報を伝えられている。

i) 財務について

・学生数が減少しているため、中長期基盤の安定については評価が3になっております。それ以外は4となっております。

j) 法令等の遵守について

・法令の遵守に対しては一番気を使っている。厳しく運営、対策して維持をしている。ただ、新しく取り組むことにはコンプライアンスの観点からどんな角度から見ても大丈夫か判断してからになるので早急の改善は難しいと思われます。

k) 社会貢献・地域貢献について

・ボランティア活動は授業時間にできないため積極的に取り組んでいない。地域貢献については自動車講座やパソコン教室など積極的に行っている。

VII. 卒業生アンケートについて

(黒木学園 宮島)

・入学を決めた理由は「オープンキャンパスに参加したから」が多いため、魅力的な学校案内を作ってオープンキャンパスに呼び込めるかが生命線になっています。

・学習面に関しては、良い評価をいただいています。おもしろい授業をして身につく授業をしてほしい。

・設備・環境に関しては良い評価ですが、比較校と比べると実習車が古いと思います。過剰な設備は必要ないが、他校と比べ弱みにならないようにしたい。

・教員の評価が毎年良いのは影で教員が頑張っているからだと思います。

※職業実践課程を取得するためにアンケートはホームページに掲載しています。

VIII. 質疑応答

○質問：委員

・テキストが現状に見合っていないとのことですが、テキスト以外の講習はデーラさんなどの外部講師にお願いして実施するのか。または企業研修に参加し職員が授業として取り組んでいるのか。このように新技術を学生に伝えると将来ためになるのではないか。

応答：宮島

・デーラがメーカーと協力して学校に最新の車を持って来てくれる。見た目だけでなく構造など技術面でも授業と連携して行うことを検討していく。

○質問：委員

・学生支援の項目で年に1回健康診断を実施しているそうですが、学生の中にメンタル疾患がある学生がいたときの支援体制はどのようにしていますか。そういう学生は全員資格を修得して卒業するのですか。

応答：宮島

・学生と面接し職員全員で情報を共有します。重いケースは保護者との連携をとりますが、疾患とまではいかない軽いケースは保護者にどこまで伝えたらよいか困ってしまいます。基本的には家庭と連絡を取り合っています。資格修得に関しては途中で諦める学生もおりますが、素直に取り組む学生が多く卒業まで行くケースが多いです。

○質問：委員

・職員能力開発するための研修会が行われているのかの中で教え方の研修が少ないとのことでしたが、研修会ではなく2、3人で集まって意見を交わすことはないのか。

・応答：宮島

・チームの中でやっています。学年ごと3名で行っており良く意見交換をしています。

○質問：委員

・募集と財務のところに関連すると思いますが、長期的財務は学生の減少で3になっていると思いますが、受け入れの募集については4で評価が高いのはなぜですか。

応答：宮島

コロナでガイダンスに呼ばれなくなり、データも住所をとれないなど募集は厳しいです。

○質問：委員

- ・自己評価報告書の項目は文部科学省の方で指定するのか。

応答：宮島

- ・はい、そうです。項目は決まっております。

○質問：委員

- ・学生支援で卒業生の支援や生活支援とはどういうことか。

応答：宮島

・卒業生の支援はやりすぎではだめだと思いますが、検査員などの勉強をみてあげることはあります。

○質疑：委員

・コンプライアンスはシビアに評価していると思いますが、学生に対しての指導をしていますか。学生の時から悪い事を声に出して断れるように指導してくれるとありがたい。

応答：宮島

一般教養などで教えていますが社会ではいけないこと、特に交通ルールや違法改造など大事にして伝えています。しかし、悪い事と気づかず行うことが多く指導を根気よく行っています。

IX. その他

- ・自己評価報告書は項目を理解し今後もこれに沿って行う予定です。（黒木学園 廣間）
- ・今回の会議内容はホームページで公開いたします。内容に関し、もっと伝わりやすくしていきますので来年度も宜しくお願い致します。（黒木学園 宮島）